

- ▶ 正解を求めるだけではなく正解にたどり着く過程を大事にした授業づくり
- ▶ 自分の思いや考えを、「話す、聞く、書く、描く」ことにこだわった授業づくり
- ▶ そもそも「何を学ぶか」「何につまずいているか」に立ち返った授業研究

	内容や意味の理解	表現
国語	<p>【読む】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ことばを読む <ul style="list-style-type: none"> ・ 繰り返されている言葉や文章を見つける。 ・ 意味が分からない言葉を聞く、話し合う、調べる。 ○ 文脈・大体・関係を読む <ul style="list-style-type: none"> ・ 段落の役割を考える。[説明文] ・ 登場人物の心情の変化を考える。[物語文] ・ 根拠を明確にして考える。[説明文・物語文] ○ 比較しながら読む。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 同じ作者の作品 ・ 同じ記事 ・ 似ているところ、違うところ ・ 以前の学習と比べてどうか ・ 場面 ・ 登場人物の気持ち(BeforeとAfter) ○ 具体的に想像する ○ 問われていることや選択肢を読む 	<p>【書く】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日常的に書く経験 <ul style="list-style-type: none"> ・ 目的や意図に応じて書く。 ・ 事実と感想、意見とを区別して書く。 ・ 内容の中心を明確にする。 ・ 文章構成や展開を考える。 ・ 要約する練習をする。 ・ 文字数などの条件を与える。 ・ 書いたものを読み返す習慣をつける。 ・ 言葉、数、絵、図、表、線分図等を使って自分の考えをかく。 ・ 視点を持った振り返りを書く。 【話す・聞く】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 身近なこと・体験したことを話す。 ・ 目的を意識して、話の中心が明確になるように話す。 ・ 目的や意図に応じて事実と感想・意見を区別し構成を考えて話す。 ・ 資料の活用など、聞き手の興味関心を予想・状況に応じて話す。 ・ 相手の知らせたいことを意識して聞く。 ・ 意図に応じて、自分の考えと比べて聞く。 ・ 必要なことをメモしながら聞く。 ・ 話の中心を考えながら聞き、自分の考えを持つ。 ○ 説明する <ul style="list-style-type: none"> ・ 言葉、数、絵、図、表、線分図等を使って説明する。 ・ 友だちの考えを自分の言葉で説明する。 ・ 読んで分かったことや感じたことを共有する。
	<p>【実感(リアリティ)を持つ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 具体物を使う。 ○ 具体から抽象の過程を意識する。 ○ 生活の中にあるか考える。(自分ごととする、) <p>【概念や意味の理解を問う】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「somosomo」わかっているのか。→ 何が分かっている、何が分かっているのか。 ・ 具体物を実際に動かしながら計算過程を確かめる。 ・ 式と問題文を対応させる。・絵と文をつなげる。・言葉を大切に ・ 問題を解く前に見通しを持つ。(予想をする。) ・ 実際に歩く、測るなどの量感を意識した活動を行う 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>問い返して本当の理解につなげる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「なんで、そう考えたの？」 ・ 「〇〇さんが話したことをもう一度話してみて」 ・ 「〇〇さんは、何が伝えたかったのかな？」 ・ 「つまり～ということかな？」 etc... </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>原則、毎時間の授業をふりかえり、次の授業や評価に生かしていく。(別紙)</p> </div>
算数		

仲間づくり

- ・ 「間違えても大丈夫」
- ・ 子どもの発言を取り入れる、生かす。
- ・ 発言したことをとにかく認める。

発言に対する子ども同士の反応

- ・ 「なるほど」
- ・ 「似てる」
- ・ 「ちょっと違って・・・」
- ・ 頷く
- ・ 首をかしげる

規律

- ・ 机上の整理
- ・ 姿勢、態度
- ・ あいまいにしない

ノート指導

- ・ 日付・課題・問題文
- ・ 振り返り
- ・ 下書きを敷く

教室環境

- ・ 学習の足跡の掲示
- ・ すっきり整理整頓
- ・ 本の整備

帯タイム・家庭学習

- ・ 意味のある繰り返し
- ・ 子どもの学習の理解に応じて
- ・ 学力調査を意識した内容も